

問1 渥美半島の農業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 大規模な港湾整備によって、生産した農産物を海外へ輸出することに特化した「企業的な農業」が行われている。 | 2. 夏でも涼しい気候を生かし、キャベツやレタスなどの高原野菜を都市部に向けて出荷する促成栽培が盛んである。 | 3. 豊川用水の整備や温暖な気候を生かし、温室やビニールハウスを用いた施設園芸農業が発達している。 | 4. 広大な平野部と水資源を生かして稲作の単作地帯となっており、日本有数の米の出荷額を誇っている。 |
|--|--|---|---|

問2 岐阜県の白川郷などの豪雪地帯で見られる、屋根の傾斜が非常に急な「合掌造り」と呼ばれる伝統的な住居について、このような構造にしている目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|----------------------------------|
| 1. 床を高くして地面からの熱を遮断し、冬場の室温を一定に保つため。 | 2. 屋根の面積を広げることで、雨水を蓄えて生活用水として利用するため。 | 3. 積雪の重みによって家屋が損壊するのを防ぐため、雪を地面へ滑り落ちやすくするため。 | 4. 夏場の風通しを良くして、家の中の湿気を効率的に逃がすため。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|----------------------------------|

問3 東海工業地域に属する静岡県県の産業構造について、統計的な特徴を説明した文として正しいものはどれですか。農業産出額と製造品出荷額の関係に着目して選びなさい。 (2023年 石川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 重化学工業の出荷額が極端に少なく、農業産出額のほとんどを占める稲作が県全体の経済を支える構造になっている。 | 2. 近畿地方の工業地帯との結びつきが強く、輸送用機械よりも伝統的な地場産業や繊維業が製造品出荷額の大部分を占めている。 | 3. オートバイや楽器などの製造業が盛んである一方、牧之原台地などでの茶の栽培や果樹農業も活発で、工業と農業がバランスよく発展している。 | 4. 北陸地方の県と同様に、冬の積雪の影響で農業生産が停滞するため、製造品出荷額に占める農業関連の割合は極めて低い。 |
|--|--|--|--|

問4 日本の交通網の大動脈である東海道新幹線の路線において、静岡県から西へ進み、岐阜県に到達する直前に通過する、中京工業地帯の中心地を含む都道府県はどこですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 愛知県 | 2. 長野県 | 3. 滋賀県 | 4. 三重県 |
|--------|--------|--------|--------|

問5 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため | 2. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため | 3. 台地は標高が高く涼涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため | 4. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため |
|--|---|--|---|

問6 長野県は中部地方の内陸部に位置し、かつては時計やカメラなどの精密機械工業が盛んでした。この伝統的な技術的背景を基盤として、現在、県の製造品出荷額等で最も大きな割合を占めている工業分野を選択してください。 (2018年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|---------|----------------|--------|
| 1. パルプ・紙工業 | 2. 食品工業 | 3. 電子部品・デバイス工業 | 4. 鉄鋼業 |
|------------|---------|----------------|--------|

問7 長野県の八ヶ岳山麓などの標高が高い地域では、夏でも涼しい気候を利用してレタスやキャベツなどの生産が行われています。このように、平地での収穫・出荷が終わった後に市場へ野菜を出荷する栽培方法を何といいますか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 抑制栽培 | 3. 二毛作 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|--------|---------|

問8 日本の中部地方の内陸部、特に周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地域では、山地が壁となることで季節風の影響を受けにくく、年間の降水量が少なくなる傾向があります。このような地域において、不足しがちな農業用水を確保する目的で古くから作られてきた人工的な池を何と呼びますか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 遊水池 | 2. 砂防ダム | 3. 地下水路 | 4. ため池 |
|--------|---------|---------|--------|

問9 新潟県は日本を代表する銘柄米の産地として知られていますが、その背景にある地理的要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。夏季に東北地方の太平洋側などで深刻な冷害をもたらす北東の風（やませ）の影響に注目して選びなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---|--------------------------------|
| 1. 奥羽山脈などの高い山々が障壁となり、冷たく湿った風が遮られるため | 2. 大規模な森林地帯が防風林の役割を果たし、平野部まで風が届かないため | 3. 火山灰が堆積した土地により、風の影響を受けにくい安定した土壌が形成されているため | 4. 対馬海流の影響で気温が上昇し、冷たい風が暖められるため |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---|--------------------------------|

問10 富山県では、江戸時代から「配置売薬」と呼ばれる独自の商法が発達した歴史があります。この伝統的な背景をもとに、現代の富山県において製造品出荷額等の割合が全国平均に比べて高くなっている工業分野として、適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|----------|---------|-------|
| 1. 医薬品（化学工業） | 2. 輸送用機械 | 3. 石油化学 | 4. 鉄鋼 |
|--------------|----------|---------|-------|

問11 北陸地方の気候と産業の特色について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 冬の降水量が非常に多く積雪が見られるため、農閑期の副業として伝統的工芸品の製造が発達した。 | 2. 冬は乾燥して晴天の日が多いため、広大な土地を利用した太陽光発電が主な産業となっている。 | 3. 一年中降水量が少なく乾燥しているため、伝統的にため池を活用した綿花栽培が盛んに行われた。 | 4. 季節風の影響を避けるために、石垣や防風林で囲まれた家々での精密機械工業が発達した。 |
|--|--|---|--|

問12 長野県は、レタスの収穫量が全国1位であることで知られています。この長野県におけるレタス栽培の特色と、その背景にある地理的条件の説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 大都市に近い立地を活かして、収穫した野菜の鮮度を保ったまま即日出荷する「近郊農業」が中心である。 | 2. 広大な平野と大型機械を利用して、小麦や大豆と組み合わせた大規模な「土地利用型農業」が行われている。 | 3. 標高が高い地域の涼涼な気候を活かして、平地の収穫が減る夏季に出荷する「抑制栽培」が行われている。 | 4. 冬でも温暖な気候を活かして、他の地域よりも出荷時期を早める「促成栽培」が行われている。 |
|---|--|---|--|

問13 5万分の1地形図「上野原」における、ある地点の状況を説明した次の文章を読み、その地点の地形と土地利用の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。「東西に延びる直線状の道路沿いに位置しており、その道路のすぐ北側には等高線が非常に密集している場所がある。また、道路のすぐ南側には中央本線の線路が並行して走っている。」 (2019年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 周囲に果樹園が広がるなどらかな傾斜地で、駅前には商店街が形成されている場所 | 2. 等高線の間隔が広く、大規模な住宅団地を造成するために森林が切り開かれた場所 | 3. 大きな河川を渡るための長い橋が架かっており、線路と道路が立体交差している場所 | 4. 北側に急な崖が迫っており、限られた平坦地に道路と鉄道が並行して通っている場所 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 豊川用水の整備や温暖な気候を生かし、温室やビニールハウスを用いた施設園芸農業が発達している。	渥美半島は愛知県南部に位置し、温暖な気候に恵まれています。豊川用水の完成後は、その水を活用して温室などの施設を用いた施設園芸農業が広まりました。キャベツなどの露地野菜の栽培も盛んですが、高原野菜の栽培（冷涼な気候を利用）とは条件が異なります。また、稲作中心ではなく、野菜や花の栽培に特化した地域です。
問2	答え 3 積雪の重みによって家屋が損壊するのを防ぐため、雪を地面へ滑り落ちやすくするため。	岐阜県などの豪雪地帯では、冬に大量の積雪があります。湿り気を含んだ雪は非常に重いため、屋根に積もり続けると家を押しつぶしてしまう危険があります。そこで、屋根の傾斜を三角形のように急にすることで、雪が自重で地面へ滑り落ちるように設計されました。これにより、過酷な自然環境の中でも家屋の損壊を防ぎ、生活を守る工夫がなされています。
問3	答え 3 オートバイや楽器などの製造業が盛んである一方、牧之原台地などでの茶の栽培や果樹農業も活発で、工業と農業がバランスよく発展している。	静岡県は東海工業地域に位置し、浜松市などを中心にオートバイなどの輸送用機械や楽器の製造が盛んです。一方で、温暖な気候や台地の地形を活かして、茶（牧之原台地）やみかん、温室メロンなどの果樹栽培も非常に盛んであり、製造品出荷額と農業産出額の双方が高い水準にあるという地域特性を持っています。
問4	答え 1 愛知県	東海道新幹線は、東京都から神奈川県、静岡県を経て愛知県に入り、その後、岐阜県、滋賀県、京都府を通して大阪府へと至ります。愛知県は静岡県と岐阜県の間に位置しており、県内には豊橋、三河安城、名古屋の3つの新幹線停車駅が存在します。
問5	答え 4 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため	台地は周囲の平地よりも一段高くなっており、水はけが良い（保水力が低い）という特徴があります。そのため、常に水を溜めておく必要がある稲作には適しませんが、水はけの良い土地を好む茶の栽培には非常に適しており、土地利用の工夫として茶園が発展しました。
問6	答え 3 電子部品・デバイス工業	長野県では、戦前から戦後にかけて培われた時計やレンズといった精密機械工業の高度な加工技術が、時代の変化とともに電子部品やデバイスの製造に応用されました。内陸部という地理的条件において、製品が小型で軽量であり、高速道路を利用した輸送に適していることや、製造過程で不可欠な清浄な水と空気という環境が整っていたことが、この産業が県内最大の出荷額を誇るまでに発展した要因です。
問7	答え 2 抑制栽培	標高の高い地域は夏でも気温が上がりにくいいため、平地では暑すぎて栽培が難しい時期にレタスなどの高原野菜を育てることができます。このように自然環境を活かして意図的に収穫時期を遅らせる方法は「抑制（よくせい）」と呼ばれ、他の産地との競合を避ける工夫として重要です。
問8	答え 4 ため池	中部地方の中央高地は、高い山々に囲まれているために湿った季節風が遮られ、全国的に見ても雨や雪が少ない地域です。そのため、古くから雨水などを貯めておく「ため池」を築くことで、稲作などの農業に必要な水を安定して供給できるように工夫されてきました。
問9	答え 1 奥羽山脈などの高い山々が障壁となり、冷たく湿った風が遮られるため	夏季に吹く冷涼な北東の風である「やませ」は、東北地方の太平洋側に冷害をもたらす要因となります。しかし、新潟県を含む日本海側では、奥羽山脈などの険しい山脈や山地がこの風を遮る壁となるため、その影響を受けにくいという特徴があります。この地形的利点により、稲の生育に必要な気温が確保され、良質な米作りが可能になっています。
問10	答え 1 医薬品（化学工業）	江戸時代から続く「富山の薬売り」という伝統的な売薬業のネットワークと技術が、現代の高度な化学工業、特に医薬品製造業の発展へとつながりました。富山県は現在でも日本有数の医薬品生産拠点となっています。
問11	答え 1 冬の降水量が非常に多く積雪が見られるため、農閑期の副業として伝統的工芸品の製造が発達した。	北陸地方の伝統産業は、厳しい冬の気候環境と密接に関わっています。十二月から二月にかけて降水量が急増し、気温の低下とともに雪に閉ざされる生活環境が、丁寧な手作業を必要とする工芸品づくりを育みました。これは、地域の自然環境が人々の生活様式や産業構造に影響を与えた典型的な事例です。
問12	答え 3 標高が高い地域の冷涼な気候を活かして、平地の収穫が減る夏季に出荷する「抑制栽培」が行われている。	長野県の中央高地や群馬県の嬬恋村などの高冷地では、夏の涼しい気候を利用して、本来は秋から春にかけて収穫されるレタスやキャベツを夏から秋にかけて栽培します。これを「抑制栽培」と呼び、平地での生産が少なくなる時期に市場へ出荷することで、高い利益を得る工夫がなされています。冬の暖かさを利用する「促成栽培（宮崎県や高知県など）」とは対照的な仕組みです。
問13	答え 4 北側に急な崖が迫っており、限られた平坦地に道路と鉄道が並行して通っている場所	地形図において等高線が密集している部分は、傾斜が急な「崖」や「急斜面」であることを示しています。道路の北側に崖があり、南側に鉄道の地図記号が並行しているという記述から、山地や段丘崖と河川に挟まれたわずかな平坦地を、道路や鉄道といった交通インフラが効率的に利用している状況が判断できます。